

# 秋の山その1 玉原高原・鹿俣山&苗場山

日程：2015年 10月13日（火）～14日（水）

メンバー：赤澤（L）他3名

報告：赤澤

13日

8：50 JR八王子駅に集合し Tさん車にて関越道へ。赤城高原SAにて昼食を摂った後沼田ICを出て玉原高原へと向かった。

11：55 スキーシーズン前の閑散とした玉原スキー場駐車場より鹿俣山（1637m）へと踏み出す。グレンデに沿ったブナ林の中の登山道は歩きやすく、日本有数と云われるブナの天然林は黄葉真っ盛りで色鮮やかだ。アゴを出すような急登も無く1時間50分で頂上到着。生憎天気はイマイチ。コーヒーを沸かしているとあらぬ方向から人声がして、藪の中から3名の登山者が現れたのでビックリした。獅子ヶ鼻山（1875m）へ登ってきたという地元の若者達で、かつては登山道があったが今は廃道となり、かなり藪漕ぎを強いられたという。どこにも物好きがいるものだが若者達のその冒険心に拍手した。下りは1時間で下山、人も少なく初心者向きというか我々ルートには丁度手頃な山歩きであった。宿泊は苗場のグルッペ山荘。Sさんのキノコ汁に舌鼓うち早めに就寝する。

14日

Fさんがずっと登りそびれていた苗場山（2145m）。明け方までかなりの雨、機先を制せられた思いで皆さん動きが鈍い。それでも雨は朝の内だけという天気予報を信じて5時過ぎには起床し、5・6・7で祓川登山口に到着する頃には雨もあがり青空も期待出来そうな空模様となる。登山口には既に15～6台の車が駐車しており悪天候だったのに皆さん出足が早い。

7：40 出発。25分程で和田小屋となり登山届けを投函する。ここはかぐらスキー場のど真ん中、シーズン中はスキー客で賑わう所だが、残念ながら付近の紅葉は最盛期を過ぎ葉が散りかけて晩秋のたたまいの中寂然たる趣である。

幅広の木道に沿ってグレンデを横切るとすぐに樹林帯に入り本格的な山道となった。木道と滑り易い大きな石がごろごろする転石の道が交互に続き木道を外れると朝方までの雨で登山道は水路と化し、滑って歩き難く Tさんのスパイク付長靴はまさに正解だ。

9：30 下ノ芝着。新しく付け替えられたばかりの木道とベンチがあっていい休み場となっている。芝とは湿原の事で、この先小湿原が中ノ芝、上ノ芝と続く。木道が途切れゴロゴロした転石の登山道になった時、私は一瞬の油断で傾斜のある石に載せた左足がツルッと滑って前のめりに転倒、右側頭部で大石に頭突きをかます恰好となり、ハネっ返されて一瞬ポォーツ！となった。Tさんがしきりにペットボトルを差し出し水を飲めと言っているようなのだが、別に飲みたくもないのに何故なのだろう？と思う。時間にすればホンの数十秒だったに違いないがしたたかに頭を打って意識朦朧となっていたらしい。Tさんが差し出すボトルは転んだ際に私のザックから落ちたもので、飲めと言って差し出してくれたわけでもなかったようだ。幸いに大事には至らずわが頭、意外に石頭だった事を発見したのは良かったが、帰宅後も2週間程腫れ上がった右耳、右肘、左膝の痛みがとれず往生した。

その後さらに流れは激しくなってまるで沢登りの様相となった登山道、2度と転倒したくないので慎重に一步、一步足を上げる。

神楽ヶ峰～雷清水を経て最後の登りに入ると木陰にはうっすらと雪が残り、灌木には朝方の雨が凍り付き小規模ながら樹氷が出来ていて 冬間近である事を確認させられた。

12:45 頂上着。いつもながら広大な湿原。昨年訪れた南会津・田代山の5倍位はありそうな山上台地。登りに5時間切れなかったのはチョッとかかりすぎだ。初めての苗場山は1966(昭和41)年8月、この時は3時間半で登っている。24歳の時だからこの位の差はまあしょうがないか。その時泊まったのは確か谷川岳のヒゲの大将で知られる高波吾策氏経営の遊仙閣だったが、3年前に解体され今は影も形もなくチョッと寂しい。もう一つの宿、苗場山自然体験交流センターの看板のある苗場山頂ヒュッテ前のベンチでコーヒーを沸かす。山上の湿原を渡る風は冷たく熱いコーヒーが美味しい。この小屋は長野県側にあり、かつて隣り合わせに建っていた遊仙閣は新潟県だったというのが面白かったのだが。

苗場山を世に最初に紹介したのは「北越雪譜」の鈴木牧之で文化8(1811)年7月総勢12名で登っている。ルートは今日辿った道とほぼ同じであると思われ、その頃既に頂上には枯れ枝を重ね、笹や枯草で覆っただけのお粗末なものながら小屋があったという「北越雪譜」(岩波文庫)。

下りは3時間40分かけて17:00 碓氷登山口下山。秋山側から登った事はあるがこちら側からは初めてというSさん、初めて挑んだFさんが念願敵ったと喜んでくれたのをヨシとしたが、かなり痛い思いをした事もあり苗場山はもうこれが最後かなあと思う。Tさんお世話になりました。(赤澤 記)

追伸：10月初め下見を兼ねて和田小屋まで出掛け、周辺で山葡萄1.2kg収穫しました。